

道仏遺跡発掘調査現地見学会

平成 26 年 12 月 14 日（日）

宮代町教育委員会 郷土資料館担当

1. 道仏遺跡

道仏（どうぶつ）遺跡は宮代町の中央やや南東側、大宮台地慈恩寺支台最東端の屈曲部に位置します。平成 9・20・22～23・25～26・26 年度の計 5 回の発掘調査が行われ現在までに約 150 軒の住居跡が発掘されています。住居跡が発掘されている時代は縄文時代早期後半（約 7,000 年前）と古墳時代中期後半（約 1,550 年前）から後期前半（約 1,450 年前）です。

2. 今回の発掘調査

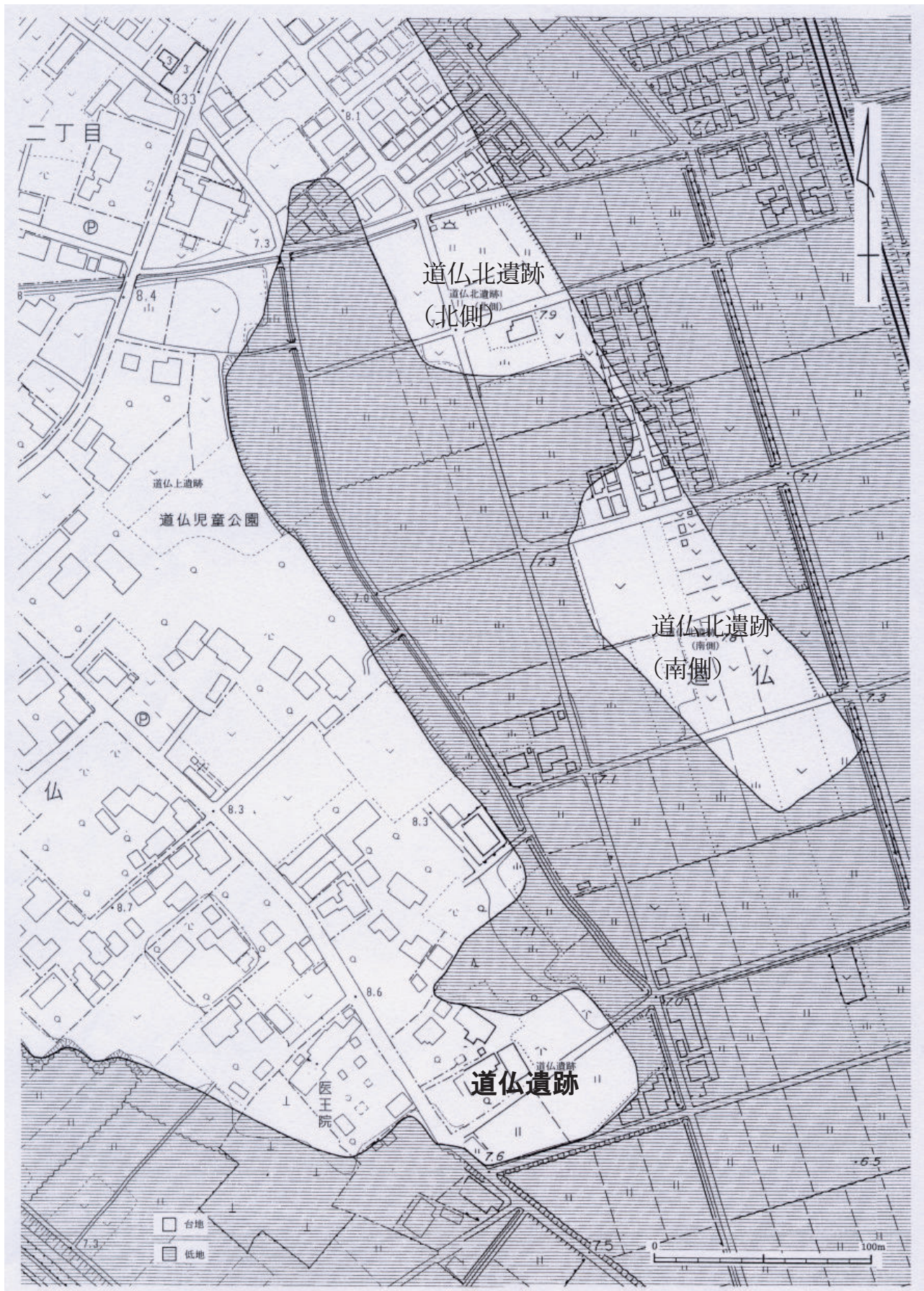
今回の発掘調査（試掘も含む）は 9 月 9 日から始まり現在（12 月 14 日）まで行われており、12 月 20 日頃で終了する予定です。面積は約 1,000m²です。古墳時代中期後半（約 1,550 年前）から後期前半（約 1,450 年前）の住居跡が約 40 軒（今までの発掘調査で一部確認されていたものを含む）発掘されました。埼玉古墳群の稲荷山古墳が造られた時代から仏教が伝来し蘇我氏や物部氏が争っていた時代にあたります。

出土品の中には東海地方産の須恵器（すえき）のハソウや剣形品、有孔円盤と呼ばれる石製模造品、碧玉製と推定される管玉、木の実、土玉も出土しています。

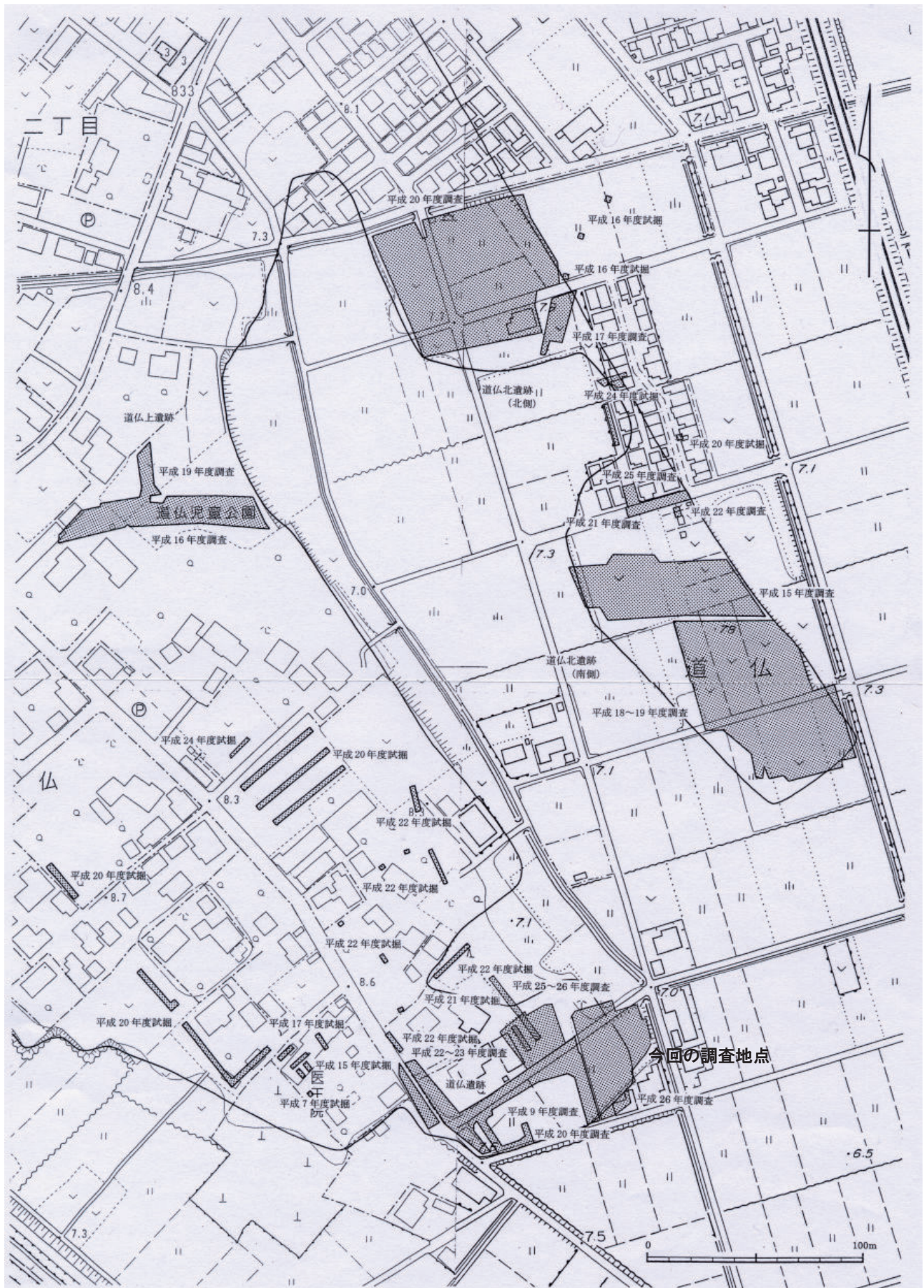
3. 道仏遺跡と姫宮神社古墳そして埼玉古墳群

道仏遺跡が集落遺跡であるのに対し、姫宮神社遺跡は古墳群です。道仏遺跡から南東側へ直線距離で約 700 m 隔てています。恐らく道仏遺跡のムラ長の墓が姫宮神社古墳の埋葬者であったと推定されます。

この道仏遺跡のムラ長が属していたのが埼玉古墳群に埋葬された豪族であったのでしょうか。行田市も宮代町も同じ埼玉郡です。道仏遺跡が 5 世紀中頃から 6 世紀中頃、姫宮神社古墳群が 6 世紀前半、埼玉古墳群が 5 世紀後半から 7 世紀初頭の遺跡ですので関係があったのかもしれませんが。



道仏遺跡周辺の地形



道仏遺跡の調査地点周辺の地形



平成 26 年度道仏遺跡全測図